

株主および投資家のみなさまへ

# Shimadzu Report

第146期 事業のご報告

平成20年4月1日～平成21年3月31日

株式会社 **島津製作所**

## 世界に支持される島津ブランド



## Contents

株主の皆様へ	1
業績の推移	2
事業の概要	3
グループ会社紹介	6
トピックス	7
連結決算の概要	11
単独決算の概要	13
会社概要・株式情報	14

※表紙写真の説明は、10頁をご覧ください。

# 株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。  
この度、平成21年6月26日をもちまして、取締役社長に就任いたしました  
中本晃でございます。

ここに第146期(平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)の  
事業のご報告をお届けいたしますので、  
ご高覧賜わりますようよろしくお願い申し上げます。

平成21年6月

取締役社長 **中本 晃**



## 当期の業績

当期におけるわが国経済は、期の後半に入り世界的な景気後退や金融危機などの影響を受けて、輸出、生産、設備投資等が大幅に減少し、景気は急速に悪化しました。海外においても、米国および欧州では景気は急速に後退し、中国では内需拡大策の効果もあり景気減速は緩やかであるものの、インド、ロシアでは景気は減速しました。

このような情勢のもと、当社グループは、昨年4月からスタートした3ヵ年**中期経営計画**の基本方針である“**世界に支持される島津ブランド**”の構築を目指して、マーケティング力強化による成長の持続と、確固たる収益基盤を構築するための機能・プロセス改革を進めるとともに、顧客ニーズに対応した新製品の拡販に注力いたしました。

しかしながら、期の後半に入り国内外での需要の激減や急速な円高の進行等により、当期の業績につきましては、売上高は2,728億3千3百万円(前期比6%減)となり、営業利益は196億1千3百万円(同29%減)、経常利益は177億3千1百万円(同26%減)、当期純利益は85億3千6百万円(同38%減)となりました。

期末配当金につきましては、1株につき4円50銭とさせていただきます。(中間配当金4円50銭と合わせ、年9円となります。)

## 今後の見通し

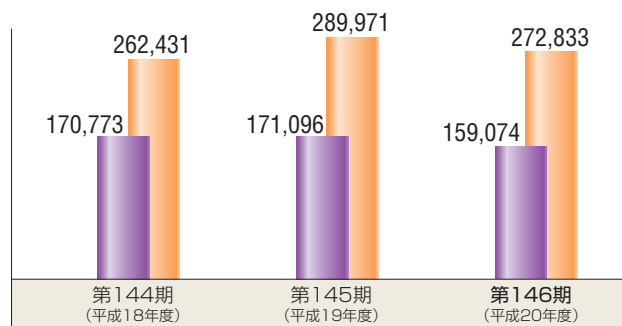
当社グループは、平成20年4月から、真のグローバル企業となることを目指して、“**世界に支持される島津ブランド**”を構築することを基本方針とした3ヵ年**中期経営計画**をスタートしました。本計画では、“**マーケティング力の強化**”と“**新しい分野への事業展開**”による成長の持続と確固たる収益基盤を構築するための“**開発・生産・営業・サービス・物流にわたる機能・プロセス改革**”を着実に実行することで、“**世界に支持される島津ブランド**”の構築を目指します。

一方、昨年来の金融危機の世界的な広がりや端を発した全世界的な需要の減退と急激な為替変動(円高)などにより、事業を取り巻く環境は厳しさを増すとともに先行き不透明な状況にあります。当社グループは持続的成長を図るために、本中期経営計画の達成年度は再考するものの、中期経営計画の基本方針や重点施策は堅持してまいります。

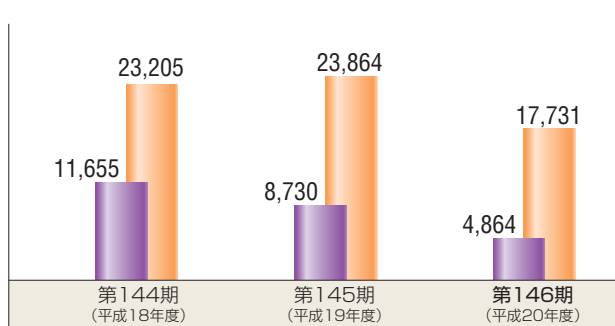
その中で平成21年度は、新たな経済環境への対応期間と位置づけ、総コスト削減による損益構造改善のための緊急施策を実施するとともに、売上規模を維持するための積極的な事業展開を行って、利益確保に努めてまいります。同時に、当社グループとして製造を含めた最適なグローバル事業体制の検討にも取り組んでまいります。

# 業績の推移

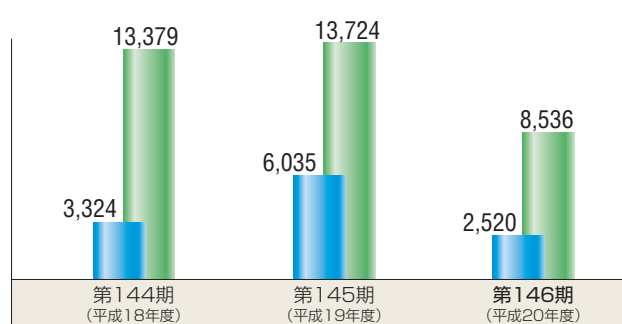
■ 売上高 (百万円)      ■ 単独      ■ 連結



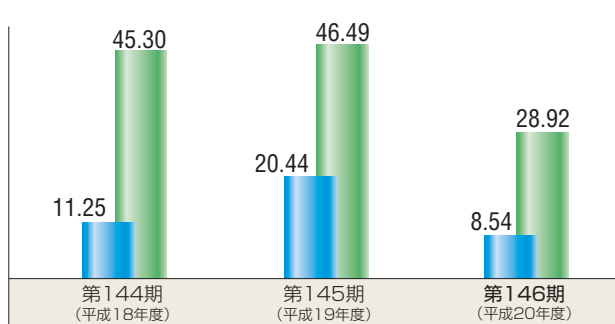
■ 経常利益 (百万円)      ■ 単独      ■ 連結



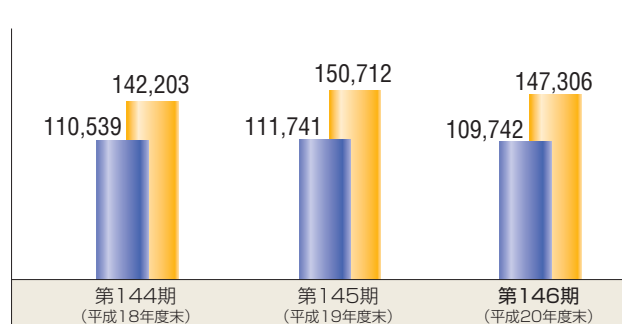
■ 当期純利益 (百万円)      ■ 単独      ■ 連結



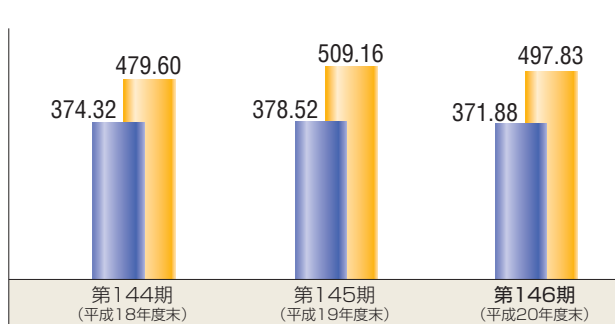
■ 1株当たり当期純利益 (円)      ■ 単独      ■ 連結



■ 純資産 (百万円)      ■ 単独      ■ 連結

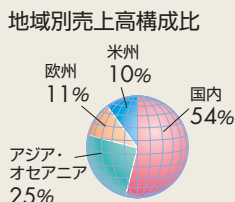
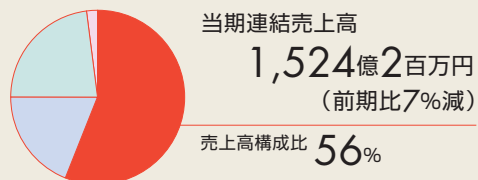


■ 1株当たり純資産 (円)      ■ 単独      ■ 連結

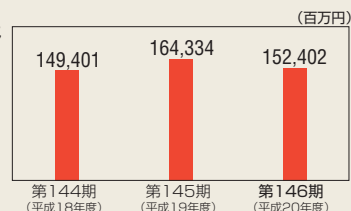


# 事業の概要

## 計測機器事業



## 売上高推移 (連結)



### 【概況】

- 国内市場は、官公需に補正予算関連で一部活発な動きがあったものの、民間の設備投資や研究開発需要が期の後半に減速傾向に転じ、全体的に低迷しました。質量分析計は新製品投入による製品系列の強化や官公需への注力により売上を伸ばしましたが、前年まで活発であった大型分析装置や光分析装置、工業用X線装置、材料試験機は後半にかけて需要の落ち込みにより売上が減少しました。
- 海外市場は、中国では食品の安全や環境関連の需要が引き続き堅調で、高速液体クロマトグラフ、質量分析計などの売上が伸びました。一方、北米、欧州およびインドなどでは需要が期の後半に入り急減し、海外市場全体の売上は減少しました。

### 主な製品

ガスクロマトグラフ、高速液体クロマトグラフ、質量分析計、光分析装置、表面分析装置、タンパク質解析装置、環境計測機器、材料試験機、工業用X線検査装置、光学デバイス、レーザー機器、はかり

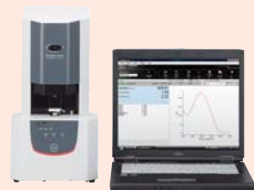
### 【今後の事業展開】

- 国内では市場へのきめ細かな対応を図り、トータルソリューションを提供できる体制の確立や保守サービスなどアフターマーケット事業の拡充に努め、事業拡大・事業基盤の強化を目指します。
- 海外では汎用機種を中心とした事業拡大を図り、継続的な成長が見込める市場に重点的に取り組みます。中国では現地開発を推進し、市場ニーズに適応した製品投入を展開していきます。(9、10頁をご参照)
- 欧州、アジア地域を中心とした化学物質規制の強化、中国での食品安全性の問題、BRICsなど新興市場での環境汚染、バイオ燃料など代替エネルギーへの転換、グリーン調達市場など、環境や安全性への対応に関する需要は活発です。また、医薬研究などライフサイエンス市場の堅調な研究開発需要も見込まれることから、これらに対応する分析装置の売上拡大を目指します。

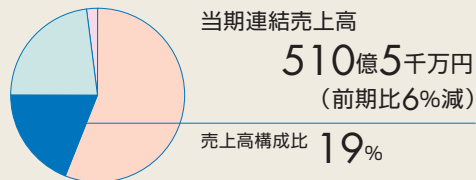
### 【トピックス】 医薬品の開発など遺伝子情報をベースにした研究開発分野に用いられる ライフサイエンス分光光度計が好調

溶液中の核酸の量をごく微量の試料で確認でき、測定条件の設定から試料のふき取りまでを自動で行えるライフサイエンス分光光度計が好調です。スタートボタンを押してから測光、測定結果の表示までを十数秒で完了でき、迅速な測定が可能です。

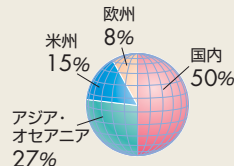
ライフサイエンス  
分光光度計  
BioSpec-nano



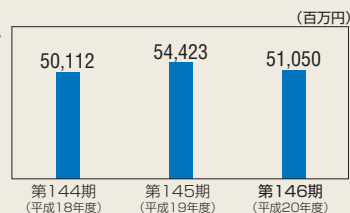
## 医用機器事業



### 地域別売上高構成比



### 売上高推移 (連結)



### 【概況】

- 国内市場は、昨年4月に画像デジタル保存優遇の診療報酬改定が行われ、病院予算がモニター診断機器に重点配分された影響で、主力のX線撮影装置の市況が低迷し、売上は減少しました。
- 海外市場は、デジタル化対応製品の需要が堅調に推移したことから、中国、欧州、中近東などで売上が伸びました。

### 主な製品

診断用X線装置、診断用核医学装置、医用X線CT装置、超音波画像診断装置、近赤外光イメージング装置、医療情報システム

### 【トピックス】 小型FPDを搭載した 小児用の回診用X線撮影装置を発売

コンパクトなフラットパネル検出器 (FPD)を搭載し、速い撮影スピードを実現したことにより被写体ブレなどに起因する再撮影を減らすことができます。本体デザインには、子供たちに人気のアニメ「ポケットモンスター ダイヤモンド・パール」も選択が可能で、検査時の不安や恐怖心を和らげ、よりスムーズな検査をバックアップします。



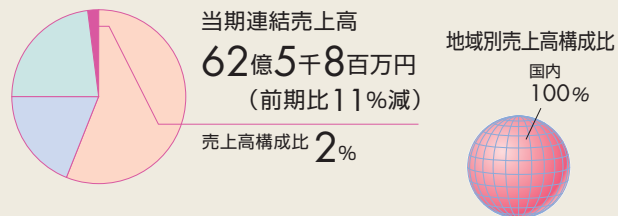
小児用デジタル式  
回診用X線撮影装置

©Nintendo・Creatures・GAME FREAK・TV Tokyo・ShoPro・JR Kikaku ©Pokémon

### 【今後の事業展開】

- 国内市場は病院経営環境の厳しさを反映して引き続き低調に推移し、海外市場でも金融不安の広がりとして替の影響を受け厳しい事業環境が続くと予想されます。この厳しい状況下で、コスト削減および生産改革の推進により収益確保を図るとともに、国内市場では販売・サービス体制の強化による売上拡大、海外市場では拠点病院の積極活用によるブランドイメージの向上に注力し、拡販を目指します。
- トモシンセシス、エネルギーサブトラクションなど臨床の現場が求める画像処理アプリケーションの開発を推進し、競争力と特徴ある製品の充実を目指します。

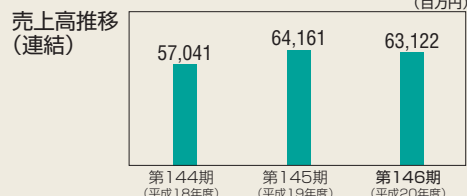
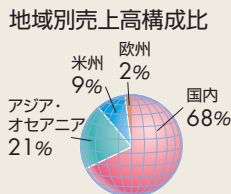
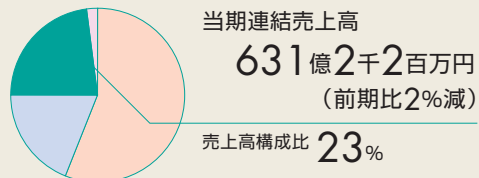
### その他の事業



### 主な事業

不動産賃貸、不動産管理、ソフトウェア開発、製品設計、建設舗床業 等

## 航空・産業機器事業



### 【概況】

- 航空機器では、国内市場は次期固定翼哨戒機(XP-1)と次期大型輸送機(C-X)の試作機製品の納入が完了したことなどにより、また海外市場につきましては民間航空機需要の急速な減退により、売上が減少しました。
- 産業機器では、半導体市況が停滞するなか、ターボ分子ポンプは液晶パネルやガラスコーティング向けの需要が期の後半に減少したものの、年間では売上が増加しました。太陽電池用成膜装置は、太陽光発電市場の拡大を背景に活発であった設備投資が期の後半に抑制傾向に転じたものの、台湾を中心に売上が伸びました。油圧機器は、期の後半に入り需要の落ち込みが顕著となり売上が減少に転じました。

### 主な製品

航空機器：空調システム、飛行制御システム、ヘッドアップディスプレイ、ロケット用バルブ、航空機器機能試験装置  
産業機器：ターボ分子ポンプ、液晶TFTアレイ検査装置、太陽電池用成膜装置、液送機器、油圧機器

### 【今後の事業展開】

- 航空機器については、防衛省の主力戦闘機(F-15)の近代化改修、XP-1・C-Xの将来の量産に備えて、搭載機器の品質およびコストの改善に取り組みます。また、内製化設備の整備を推し進め、製造能力強化を図ります。民間航空機関連については、ボーイング747-8型機用フラップ駆動システムなどの量産納入および米国での航空搭載機器の修理サービス事業を軸に事業拡大を目指します。
- 産業機器は、太陽光発電関連は米国のグリーン・ニューディール政策などの効果により中長期的に市場の拡大が期待されます。当社は国内を中心に太陽電池の増産に伴う太陽電池用成膜装置などの需要増加を見込んでいます。半導体関連につきましては市況回復の見通しが不透明ですが、ターボ分子ポンプのコストダウンなど収益構造の改善に努め、需要回復時の業績拡大に繋げていきます。

### 【トピックス】 ボーイング社の最新モデル搭載のフラップ駆動システムが完成

ボーイング社の最新モデルB747-8型機の離着陸を安全に制御する「フラップ駆動システム」が完成し、評価試験を始めました。当社はシステム評価を含めた主要部の開発全体を担当します。今後も実績のある制御システムで民間航空機向けの事業拡大を目指します。



フラップ駆動システムを搭載したボーイングB747-8型機  
(初フライトは、2009年秋の予定)

# グループ会社紹介

## Vol.8

### 島津メディカルシステムズ株式会社

- 本社：大阪市
- 設立：1966年
- 資本金：6千5百万円
- 年間売上高：151億1千9百万円（2009年3月期）
- 従業員数：481名（2009年3月31日現在）

今回は、医用機器のサービスを業務とし、**中期経営計画の成長戦略**である“**マーケティング力の強化**”（サービス事業の拡大）に取り組んでいるグループ会社を紹介します。

#### Q.島津メディカルシステムズはどんな会社？



**A.** 島津メディカルシステムズは、島津製作所が開発・製造した医用機器のサービスと販売を業務とする会社で、一社で全国をカバーしています。

サービス部門は、フラットパネル検出器（FPD）を搭載したX線撮影装置、PET装置など最先端の技術を駆使した医用機器や、診療所で初期の診療にご使用いただくX線撮影装置などを常に最高の状態でご使用いただけるよう、高い技術力で、その据付からメンテナンスまでを担っています。全国に53の拠点を構えて、地域に密着したスピーディなサービスサポート体制を構築し、お客様に信頼されるサービスを提供しています。

また1998年に本格的に営業部門を設け、診療所市場での医用機器の販売を開始し、市場拡大を図ってきました。近年では、「診療所のIT化」を合言葉に、電子カルテシステムを中心として医用機器を組み合わせ、診療業務の効率化を目指した提案で販売拡大を行っています。



据付業務

#### Q.サービス事業の売上の中心となっている保守契約とは？



**A.** 医用機器は、性能を維持し最高の状態で使用できるようにするために、定期的な点検や調整が必要です。お客様から医用機器の保守を任せていただき、最高の状態で使用できるようにお約束するのが保守契約です。

お客様の評価も高く、サービス事業の売上の約45%を占めています。



メンテナンス業務

# トピックス

## 第146期の主なトピックス

平成20年(2008)

6月 ■ 中国・四川大地震の被災者に義援金と回診用X線撮影装置を、ミャンマー・サイクロンの被災者に義援金を寄付

7月 ■ Cアーム機構をスリム化し、よりスムーズな血管造影検査や血管内治療を可能にした血管撮影システムBRANSIST safireスレンダータイプを発売

8月 ■ 京都モデルフォレスト協会と連携し、京都府南丹市で「島津製作所の森」づくりを開始

- 従来より大型の部品を検査できる工業用X線透視検査装置の高機能機種SMX-3500を発売
- 液体中の微粒子の大きさを独自開発の新技術で測定するシングルナノ粒子径測定装置IG-1000を発売

9月 ■ 測定速度と検出感度を向上させたコンパクトな液体クロマトグラフ質量分析計LCMS-2020を発売

- プレの少ない鮮明画像を撮影直後にその場で確認でき、病室や手術室、救急現場などでも活躍する移動型のデジタル式回診用X線撮影装置Mobile DaRt Evolutionを発売

10月 ■ 医用機器のショールーム「メディカルセンター」をリニューアルオープン(8頁をご参照)

- RoHS/ELV指令の規制有害元素の有無を容易に分析できるエネルギー分散型蛍光X線分析装置EDX-GPを発売
- 島津国際貿易(上海)有限公司のアプリケーション開発サポートセンターを移転・拡充(9・10頁をご参照)

11月 ■ アジアの11カ国が参加する国連大学・環境監視プロジェクトの継続支援を決定

### 第5期プロジェクト支援の調印式

当社は、国連大学の「東アジアの環境監視プロジェクト」を1996年の開始時から支援しています。2008年11月25日、国連大学学長と当社社長が次期3カ年(2009年~2011年)計画支援の協定書に調印。新たにアジア水圏沿岸域における環境モニタリングなどをスタートしました。



国連大学との調印式(写真右は当社服部社長(現会長))

平成21年(2009)

- 計測機器事業
- 医用機器事業
- 航空・産業機器事業
- その他

1月 ■ 溶液中の核酸量を<sup>マイクロリットル</sup>1 $\mu\text{l}$  ( $\mu\text{l}$ は100万分の1 $\text{l}$ )の微量試料で測定でき、測定から洗浄までを自動化したライフサイエンス分光光度計BioSpec-nanoを発売(3頁をご参照)

■ 溶液中の極微量金属成分の濃度測定を高精度かつ安全に行える分光光度計を発売

#### 原子吸分光光度計AA-7000シリーズ

環境・食品・医薬・半導体などの幅広い分野で利用されているこの装置は、光学系を改良して世界トップクラスの検出性能を実現すると共に、従来機の外觀デザインを刷新し、安全性向上と省スペース化を図りました。



AA-7000フルシステム

3月 ■ ホンダ、国際電気通信基礎技術研究所(ATR)と共同で、脳で生じる微弱な電流や血流の変化を計測してリアルタイムで解析することにより、考えるだけでロボットを制御できる技術を開発

## 「メディカルセンター」を リニューアルオープン



2008年10月1日、京都本社にある医用機器のショールーム「メディカルセンター」をリニューアルオープンしました。医用画像診断装置3機種をはじめとする最新の医用機器10機種を設置し、臨床アプリケーションの最新情報を提供するなど、お客様の要望に一層高いクオリティでお応えできるよう展示内容と設備を充実させました。

血管撮影システムやX線撮影システム、X線テレビシステムなど最新の医用機器をそろえており、必要に応じてX線撮像や、血管系疾患の治療方法であるカテーテル手術のシミュレーションも可能です。

購入調査で訪れる国内外のお客様の見学に対応するほか、ユーザーや専門学会・研究会との関係強化を進めており、オープン以来、2009年3月末までに3,000人を超える来訪者を迎えています。



カテーテル手術のシミュレーションも可能な血管撮影システム室

## 成長を続ける中国における分析計測事業の展開

### 上海にアプリケーション開発センターをオープン

2008年11月6日、中国・上海に分析機器のアプリケーション開発およびサポートを目的とした、アプリケーション開発サポートセンター（ADC）を新設しました。従来のサービスサポートに加え、研究開発や品質管理業務に携わるお客様が抱えるさまざまな課題に対して、的確な分析手法の開発・提供を行っています。



30周年記念式典とADC開所式で挨拶する当社服部社長（現会長）



ADCでのサポート

### 開発・製造から営業サポートまでをトータルに対応

当社は1979年に北京サービス拠点を設置して以来、30年以上にわたり中国での事業を着実に拡大してきました。1997年には中国事業の統括会社として島津（香港）有限公司を設立。その翌年に設立した販売・サービス会社、島津国際貿易（上海）有限公司は現在中国に12カ所の拠点を擁しています。また製造会社である島津儀器（蘇州）有限公司を設立するなど、中国における生産体制も整えてきました。この島津儀器（蘇州）有限公司には現地スタッフによる研究開発部門を設置したほか、研究開発会社である島津分析技術研発（上海）有限公司では中国の関係研究機関とも協力し質量分析ほか最先端技術の研究を行うなど、現地ニーズに対応した最先端分析機器の開発を進めています。

この度のADCの開設と島津国際貿易（上海）有限公司の営業統括機能の拡充により、製品開発・生産からアプリケーション開発、営業サポートまでトータルに対応できる体制が整いました。



島津国際貿易（上海）有限公司

## 中国オリジナル製品の現地開発と生産を拡大

当社は今後、これらのインフラを活用して、製品の「現地仕様化」と、「100%現地開発・生産」の2つを強力に進めます。前者については既にガスクロマトグラフや原子吸光分光光度計などを市場投入し、順調に実績を伸ばしています。加えて中国市場が求めるオリジナル製品の開発として、現地のニーズを取り込んだ設計と、部材調達までを含めた現地開発および生産体制を確立する計画としています。今年度は中国市場向けオリジナル製品として紫外可視分光光度計や高速液体クロマトグラフ、材料試験機などの発売を予定しています。



島津儀器(蘇州)有限公司 分析機器工場

これら現地開発・生産を計画している分析機器は、環境の保全・食品の安全の確保に役立つ装置として関心が高まっており、市場の伸びが期待される装置です。当社は、ニーズの拡大に合わせてこれらの装置を市場に投入することにより売上の増加を図り、中国におけるさらなる事業拡大を目指します。

## 効率的な太陽光発電を実現する太陽電池用成膜装置



太陽電池用成膜装置 SLPC-TB

表紙に掲載した製品は、昨年発売を開始した太陽電池用成膜装置SLPC-TB(ターンバック)です。本装置は、太陽電池セルに入射した光エネルギーを電力に変換する効率を上げるためセルの表面に反射防止膜を成膜する装置です。

当社では1980年代から将来のエネルギー問題を見据えて太陽電池をターゲットとした成膜装置の開発を続け、92年には太陽電池用成膜装置SLPC-71Hを発売しました。以来、新型機SLPC-TBと合わせて国内でほぼ100%のシェアを獲得しています。また海外でも中国、台湾などを中心に売上を伸ばし、世界では約25%のシェアを占める世界3強の一つです。

今後はより高い変換効率の実現と生産性の向上を目指して技術開発を続けるとともに、欧米・インドでの販売促進にも力を入れていきます。

# 連結決算の概要

## 連結貸借対照表

(百万円)

	当期末 (平成21年3月31日)	前期末 (平成20年3月31日)		当期末 (平成21年3月31日)	前期末 (平成20年3月31日)
<b>資産の部</b>			<b>負債の部</b>		
流動資産	181,224	199,378	流動負債	96,429	103,911
<b>ポイント1</b> 現金及び預金	24,494	35,766	支払手形及び買掛金	45,754	52,611
<b>ポイント1</b> 受取手形及び売掛金	79,250	87,238	短期借入金	12,520	5,246
たな卸資産	68,733	66,000	<b>ポイント1</b> 1年内償還予定の社債	10,000	15,000
その他	9,752	11,252	その他	28,155	31,053
貸倒引当金	△ 1,007	△ 879			
固定資産	99,931	104,452	固定負債	37,419	49,207
有形固定資産	(67,608)	(66,788)	<b>ポイント1</b> 社債	10,000	20,000
建物及び構築物	32,413	33,708	長期借入金	2,120	2,556
機械装置及び運搬具	5,917	6,418	退職給付引当金	16,827	19,432
土地	18,808	18,849	その他	8,472	7,219
その他	10,468	7,812	負債合計	133,849	153,118
無形固定資産	(6,538)	(6,211)			
投資その他の資産	(25,784)	(31,453)	<b>純資産の部</b>		
投資有価証券	7,776	12,352	<b>ポイント2</b> 株主資本	154,855	148,875
長期貸付金	1,465	969	資本金	26,648	26,648
その他	16,733	18,302	資本剰余金	35,188	35,188
貸倒引当金	△ 190	△ 171	利益剰余金	93,641	87,574
			自己株式	△ 623	△ 536
			<b>ポイント2</b> 評価・換算差額等	△ 7,944	1,432
			その他有価証券評価差額金	1,586	3,211
			為替換算調整勘定	△ 9,530	△ 1,779
			少数株主持分	395	404
<b>ポイント1</b> 資産合計	281,155	303,830	純資産合計	147,306	150,712
			<b>ポイント2</b> 負債純資産合計	281,155	303,830

### ポイント1 総資産の減少

社債を150億円償還し、現金及び預金が113億円減少したことや受取手形及び売掛金が80億円減少したことなどにより、総資産が227億円減少しました。

### ポイント2 自己資本比率の向上

利益剰余金の増加ならびに総資産の減少などにより、自己資本比率が2.8ポイント向上し、52.3%となりました。

### ポイント3 当期の業績状況(対前期比)

売上高が171億円減少したことに伴い、営業利益は80億円減少しました。一方、経常利益は営業外収支の改善により、61億円減少となり、当期純利益は特別損失の増加もあり、52億円の減少となりました。

## 連結損益計算書

(百万円)

	当期 (平成20年4月1日～ 平成21年3月31日)	前期 (平成19年4月1日～ 平成20年3月31日)
ポイント③ 売上高	272,833	289,971
売上原価	167,861	177,378
販売費及び一般管理費	85,358	84,995
ポイント③ 営業利益	19,613	27,597
営業外収益	1,601	1,678
営業外費用	3,482	5,411
ポイント③ 経常利益	17,731	23,864
特別利益	1,489	266
特別損失	3,999	501
税金等調整前当期純利益	15,221	23,629
法人税、住民税及び事業税	4,913	5,753
法人税等調整額	1,746	4,125
少数株主利益	24	25
ポイント③ 当期純利益	8,536	13,724

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(百万円)

	当期 (平成20年4月1日～ 平成21年3月31日)	前期 (平成19年4月1日～ 平成20年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,923	19,202
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 10,441	△ 15,419
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 11,757	4,083
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 2,631	198
現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	△ 11,907	8,064
現金及び現金同等物の期首残高	35,077	26,906
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	503	106
現金及び現金同等物の期末残高	23,673	35,077

## 連結株主資本等変動計算書

(百万円)

当期(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	株主資本					評価・換算差額等			少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
前期末残高	26,648	35,188	87,574	△ 536	148,875	3,211	△ 1,779	1,432	404	150,712
当期変動額										
剰余金の配当			△ 2,804		△ 2,804					△ 2,804
在外子会社の会計処理の 変更に伴う増減			215		215					215
連結範囲の変動			119		119					119
当期純利益			8,536		8,536					8,536
自己株式の取得				△ 87	△ 87					△ 87
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					—	△ 1,625	△ 7,751	△ 9,376	△ 9	△ 9,386
当期変動額合計	—	—	6,067	△ 87	5,979	△ 1,625	△ 7,751	△ 9,376	△ 9	△ 3,406
当期末残高	26,648	35,188	93,641	△ 623	154,855	1,586	△ 9,530	△ 7,944	395	147,306

# 単独決算の概要

## 貸借対照表

(百万円)

	当期末 (平成21年3月31日)	前期末 (平成20年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産	113,006	127,074
現金及び預金	3,999	13,409
受取手形	15,833	19,582
売掛金	36,085	41,956
たな卸資産	44,627	38,798
その他	12,639	13,538
貸倒引当金	△ 179	△ 211
固定資産	100,953	105,751
有形固定資産	(58,529)	(58,458)
建物及び構築物	29,500	30,196
機械及び器具等	8,692	10,058
土地	18,281	18,169
その他	2,055	33
無形固定資産	(5,608)	(5,411)
投資その他の資産	(36,815)	(41,882)
投資有価証券	7,428	11,748
関係会社株式	13,761	13,774
長期貸付金	1,578	1,085
その他	14,254	15,474
貸倒引当金	△ 207	△ 200
資産合計	213,960	232,826

## 負債の部

	当期末 (平成21年3月31日)	前期末 (平成20年3月31日)
流動負債	76,175	79,959
支払手形	871	983
買掛金	31,457	35,303
短期借入金	16,085	10,201
1年内償還予定の社債	10,000	15,000
未払金	10,034	10,988
その他	7,726	7,482
固定負債	28,041	41,124
社債	10,000	20,000
長期借入金	306	456
長期未払金	463	463
長期預り金	5,871	6,205
退職給付引当金	10,945	13,999
その他	455	—
負債合計	104,217	121,084
<b>純資産の部</b>		
株主資本	108,166	108,538
資本金	26,648	26,648
資本剰余金	35,188	35,188
利益剰余金	46,953	47,237
自己株式	△ 623	△ 536
評価・換算差額等	1,576	3,203
純資産合計	109,742	111,741
負債純資産合計	213,960	232,826

## 損益計算書

(百万円)

	当期 (平成21年4月1日～ 平成21年3月31日)	前期 (平成20年4月1日～ 平成20年3月31日)
売上高	159,074	171,096
売上原価	111,048	116,654
売上総利益	48,025	54,442
販売費及び一般管理費	43,822	44,523
営業利益	4,203	9,918
営業外収益	4,144	4,511
営業外費用	3,483	5,699
経常利益	4,864	8,730
特別利益	1,465	247
特別損失	3,027	448
税引前当期純利益	3,302	8,528
法人税、住民税及び事業税	△ 560	△ 1,139
法人税等調整額	1,342	3,632
当期純利益	2,520	6,035

# 会社概要 (平成21年3月31日現在)

## 会社概要

商号 株式会社島津製作所  
SHIMADZU CORPORATION  
創業 明治8年(1875年)3月  
設立 大正6年(1917年)9月  
本社所在地 〒604-8511  
京都市中京区西ノ京桑原町1番地  
電話075-823-1111(代表)  
資本金 26,648,899,574円  
従業員数 単独 3,166名 連結 9,670名  
連結子会社数 国内32社 海外44社

## 主要な事業所

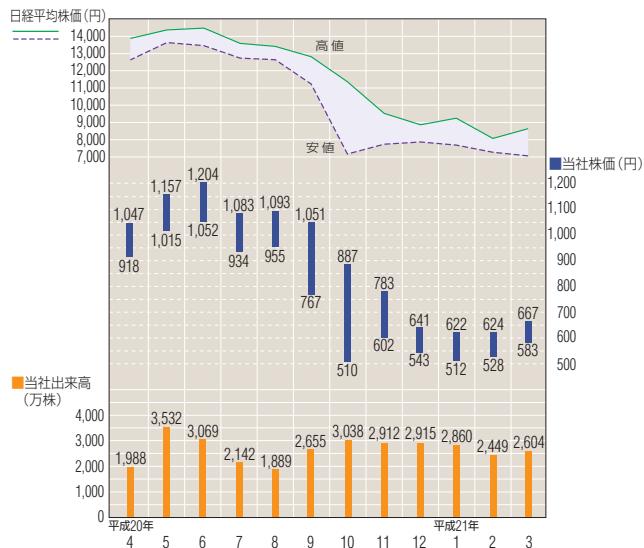
本社 京都市中京区西ノ京桑原町1番地  
支社 東京/関西(大阪市)  
支店 京都/九州(福岡市)/名古屋/横浜/  
北関東(さいたま市)/神戸/つくば/広島/  
東北(仙台市)/札幌/四国(高松市)/静岡  
工場 三条/紫野(いずれも京都市)/厚木(厚木市)/  
秦野(秦野市)/瀬田(大津市)  
研究所 基盤技術研究所(京都府精華町/東京都千代田区)  
田中耕一記念質量分析研究所(京都市)

# 株式情報 (平成21年3月31日現在)

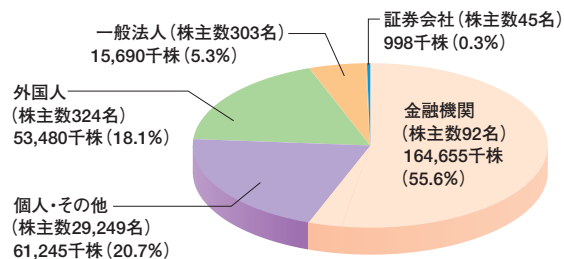
## 株式の状況

株主数..... 30,013名  
発行済株式総数..... 296,070,227株

## 株価の推移 (東京証券取引所)



## 株式の所有者別分布



## 大株主

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社[信託口]	23,148	7.84
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社[信託口]	21,750	7.37
明治安田生命保険相互会社	21,130	7.16
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社[信託口4G]	15,508	5.26
東京海上日動火災保険株式会社	7,687	2.60
株式会社三菱東京UFJ銀行	7,672	2.60
太陽生命保険株式会社	7,411	2.51
全国共済農業協同組合連合会	7,267	2.46
日本生命保険相互会社	6,182	2.09
株式会社京都銀行	4,922	1.67

\* 出資比率は、自己株式(970,422株)を控除して計算しております。

# 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月に開催
基準日	定時株主総会、期末配当：毎年3月31日 中間配当：毎年9月30日 (その他必要ある場合は、公告のうえ設定します。)
公告方法	電子公告とし、当社ホームページ ( <a href="http://www.shimadzu.co.jp/aboutus/ir/kk.html">http://www.shimadzu.co.jp/aboutus/ir/kk.html</a> ) に掲載します。 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告 による公告をすることができない場合は、京都新聞 および日本経済新聞に掲載します。

上場証券取引所	東京・大阪
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒530-0004 大阪市北区堂島浜一丁目1番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話(通話料無料)0120-094-777 (受付時間 土・日・祝祭日を除く9:00~17:00)

## 株式に関するお問合せ先

### 証券会社等の口座に記録された株式に関するお問合せ先

口座を開設されている証券会社等にお問合せ下さい。

### 特別口座に記録された株式に関するお問合せ先

三菱UFJ信託銀行(特別口座の口座管理機関)にお問合せ下さい。なお、三菱UFJ信託銀行全国本店でもお取次ぎいたします。

連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社大阪証券代行部 電話(通話料無料)0120-094-777(受付時間 土・日・祝祭日を除く9:00~17:00)

### 未払配当金のお支払いについて

三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## 島津創業記念資料館のご案内

昭和50年、創業100周年記念事業の一環として創業者である初代および二代目島津源蔵の遺徳を偲び、当社創業の地、京都木屋町二条に開設。明治の創業から昭和の中頃までの理化学器械やX線装置ならびに事業活動に関連する文献・資料など約600点を展示、一般公開しています。



### 島津創業記念資料館(国の登録有形文化財)

建物は、創業当時のままの姿を残しています。

- 市バス 市役所前下車徒歩約2分
- 京阪電車 三条下車徒歩約7分
- 地下鉄東西線 市役所前2番出口下車徒歩約2分
- 京都駅からのアクセス  
市バス:205(四条河原町方面)、17系統乗車  
タクシー:約20分



〒604-0921 京都市中京区木屋町二条南

- TEL/075-255-0980 ●FAX/075-255-0985
- <http://www.shimadzu.co.jp/visionary/memorial-hall/>

キリトリ

島津創業記念資料館

株主様無料入館券

本券1枚につき4名様まで無料で入館いただけます。  
(平成22年3月末まで有効)

 SHIMADZU

<http://www.shimadzu.co.jp/>

●再生紙を使用しています。

DP050-0146B  
0220-00801-30B-NS